



ち

ちゅぷちゅぷと 長靴で歩く  
水たまり



どうして小さい子どもは水たまりを見つけると、わざわざ中に入っていくのでしょうか。「あああ、もおう・・・」と思ったとき、あなた自身はどうだったのか、教えてくれる人がいたら聞いてみませんか。大抵「あなたもよくやってたわよ。」と言われることだと思います。

だって、楽しいと思いませんか？

足踏みしたら「チャプチャプ」って音が聞こえます。水の量とか、踏み方とかを変えただけで、水の跳ね方が違ったり、聞こえる音が違ったりするからですね。子どもたちは、自分が動いたことで起こる反応を楽しんでいるだけなのです。

同様に、晴れた日に長靴を履いている子どもも多いですよ。どうしてなの

しょうか？

少しパカパカしたくらいのサイズの長靴だと、自分一人でも履けるからでしょうか。「あああ、そんなところでパチャパチャしたら服が汚れる・・・」「晴れた日には長靴はかないですよ」と思う位、毎日やっちゃうんですね。

それが、ある日、気がついたら水たまりをよけて歩いていたり、雨の日でも「長靴なんかかっこ悪い」なんて言っていて履かなくなる。そんな日が、遠からず来るのですから、ほんの少しの間だけ、好奇心をしっかりと満たしてあげましょう。